

令和元年6月28日

保護者各位

福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校長 丹野 純一

令和元年度 東北大学オープンキャンパス見学会について（御案内）

初夏の候、保護者の皆様にはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本校では、今年度東北大学の見学会をオープンキャンパスに合わせて実施します。

つきましては、お子様の参加を希望する方は、下記により申し込んでください。

記

- 目的** 大学のオープンキャンパスに参加して、模擬授業を体験したり、施設設備を見学したり、大学生と交流することなどにより、大学について理解を深め、進路への意識を高める。
- 期 日** 令和元年7月31日（水）
- 対象生徒** 中学1年～高校3年次の参加希望生徒
- 見学場所** 東北大学 川内・青葉山・星稜キャンパス
- 交通手段** 貸切バス（本校教員引率）
- 費 用** 自己負担金1,000円 ※オープンキャンパス当日の朝に集金します。
- 見学方法** 東北大学の3か所で降車し、自由見学となります。
川内キャンパス 文学部・法学部・経済学部・教育学部（文系）
青葉山キャンパス 理学部・工学部・農学部・薬学部（理系）
星稜キャンパス 医学部・歯学部
- 日 程**
(行き) 7:30発 7:40 常磐道 10:20 10:30 11:50
本校（広野駅経由）——— 川内 —— 青葉山 —— 星稜
14:30発 14:40 14:50 常磐道 17:10着 17:20着
(帰り) 川内 —— 青葉山 —— 星稜 ——— 広野駅 —— 本校
※細かい日程は、事前指導の際生徒にお知らせします。
- 事前指導** 進路部で東北大オープンキャンパスについての説明会を7月1日（月）16時から多目的教室2で実施します。その話を聞いてから申し込みをしても構いません。
- 参加申込** 下の申込書に記入して7月8日（月）までに担任へ提出してください。
お子様が寮生の保護者の方の押印は不要ですが、必ずお子様より連絡を受けて承諾をしてください。
- その他** （重要）寮生の生徒諸君へ 参加する生徒は必ず保護者に連絡して承諾を受けてください。なお、この文書はライデンスクールと本校ホームページに掲載します。

-----キ-----リ-----ト-----リ-----

東北大学オープンキャンパス見学会 参加申込書

申込日 令和元年7月__日

東北大学オープンキャンパス見学会に参加します。

生 徒	中学・高校__年(次) __組 __番 氏名_____
-----	-----------------------------

保 護 者	氏名_____様 印
-------	------------

寮生のみ	保護者に連絡して承諾を得た。（該当の生徒は左文を○で囲む）
------	-------------------------------

東北大学の オープンキャンパスに 参加しませんか

こんにちは、進路指導室です。みなさんはどんな学校生活を送っていますか？ 部活に燃えている人、部活と勉強の両立がうまくできている人、うまくできずに悩んでいる人、生徒会活動で忙しい人、帰宅部で時間をうまく使えない人など…、そんな中で学校の授業は、みんなに対して共通に行われているはずですが、その授業に対する姿勢はどうでしょうか。将来の進路については、「まだまだ先のこと」「高3になって頑張るよ」「部活引退まではそんなこと考えていられない」など…でもこんなことを言っているようでは、満足した進路を勝ち取れないかも。もちろん今から「気合い入れて勉強しろー!!」と言うつもりはないが(やれる人はどんどんやってね)、自分の進路について考え始めることで、授業に対する意識も変わってくるはずです。

そこで、進路への意識を少しでも高めてもらおうと思い、そのきっかけ作りとして「オープンキャンパス」への参加を勧めます。それでは本題に入ります。

「オープンキャンパスとは何のためにあるの？」

いきなり余談で申し訳ないですが、私が中高校生の頃、30年前の話ですが、オープンキャンパス(生徒たちはオーキャンと略している。以下OC)? そんなものは存在しなかったし、言葉もなかったです。大学のパンフレットだって貧相なものでした、と思うのですが、見た記憶がない、と言ったほうが正しいかもしれません。もしあの時OCがあったら、今とは違う道に進んでいたかも！

今は昔と違って、学部・学科名を見ても何を勉強するのか分かりにくいものもあります。だから入学後に「こんなはずじゃなかった!! (これをミスマッチという)」なんてことにならないように、事前にOCに参加して、学問の内容をチェックしたり、体験授業に出席したり、大学の雰囲気などを確認したりすることが当たり前になっているのです。

また、ここ数年でOCの中心的な存在になっているのが、現役大学生のOCスタッフです。大学を決めるときって、やはりどんな大学生がいるのかを知りたくなりますよね。それを入試センターの職員や教授に聞いても、悪い話はしないことも考えられます(入試課の皆様スイマセン)。やはり「現役大学生の生の声」が一番ですよ。ちなみに、どの大学でもこのボランティ

アに入るには大変な競争率のようです。

「どこに行ってもいいかさっぱりわかんないよ??？」

いきなり「OCへ行け!!」と言われて、「OK!!」とすぐに行動できる人は、ある程度学びたい学問や将来の職業が決まっている人でしょう。**逆に決まっていなかったら、「どうしていいかわからない?」が本音だと思います。まして中学生は高校へも進学していないし大学なんて遥か未来のことですわ。**

そのような人こそ東北大学のOCへの参加をお勧めします。中学生も東北大学の名前ぐらいは聞いたことがあると思います。以下：東北大のホームページから引用

東北大学は、1907年(明治40年)に東北帝国大学として創立し、当初から、専門学校、高等師範学校の卒業生にも門戸を開き、1913年(大正2年)には、当時の政府からの圧力にも屈せず、日本の大学として初めて、3名の女子の入学を許可し、「門戸開放」が本学の不動の理念であることを世に示した。

また、創立に当たって、世界の学界でトレーニングを積んだ若き俊秀が教授として集まったこともあって、研究者が独創的な研究成果を次々と生み出しながら、それを学生に対する教育にも生かすという「研究第一主義」の精神が確立された。さらに、いち早く大学発のベンチャー企業を設立して地域産業の育成を図ったり、日常生活に最も密着した法律である家族法の研究の日本の中心になるなど、世界最先端の研究成果を社会や人々の日常生活に役立てる「実学尊重」の伝統も育んできた。

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、全学を挙げて本学の教育・研究機能の回復と被災地の復旧に努め、その経験と知見を生かして、東北の復興、日本の新生に向けて取り組んでいる。

OCへ行く意味が分かってもらえたでしょうか？ 実際に大学や専門学校を見たり、話を聞いたりすれば、みなさんの進路決定に何かヒントを与えてくれるはずです。それぞれの大学や専門学校では、それぞれの個性を持ってカリキュラムを組んでいるので、その微妙な違いを比較していくことはとても大切です。OCとは、パンフレットやHP、受験雑誌だけではわかりにくい部分を発見する素晴らしい機会です。積極的に参加しましょう。

それでは東北大学で会いましょう。

進路指導室より

※興味関心のある生徒の皆さんは7月1日の事前指導に来てください。

～最後まで読んでくれてありがとう～